

宮川の風 第57号

平成30年9月14日(金)発行
宮川小学校校長室からのたより

「2学期が始まりましたね。事故などがなくて良かったですね」「運動会の練習で太鼓の音が響くと、私たちも元気が出てきます」「気持ちよいあいさつをしてくれて、みんないい子たちですね」

これは、毎朝子どもたちの登校を見守ってくださるスクールガードの方々の会話です。子どもたちのことを大切に思い、優しく見守ってくださる気持ちが伝わってきます。子どもたちとの短い時間の交流を楽しみながらボランティアに取り組んでくださる方々に、心からの敬意を表します。

裏面の話をお読みください。

本校のスクールガードの方々も同じような気持ちでいらっしゃると思います。子どもたちとの会話は、元気の源なのです。子どもたちには、スクールガードの方々に積極的にあいさつをし、会話をしてほしいと思います。素敵な心の交流を子どもたちにも味わってほしいと思います。

さて、子どもたちの最も身近なところにいる私たちは、子どもたちとの会話を大切にしているのでしょうか。もしかしたら、貴重な会話の時間を無駄にしてはいないでしょうか。子どもたちには話したいことがたくさんあるはずです。大人にとってはつまらない話でも、子どもたちにとっては伝えたい話なのです。しかし、どんなに伝えたい話でも、話を聞く側の気持ちが寄り添っていなければ話す側の気持ちもしぼんでしまいます。思春期に向かって多くの子どもたちが無口になっていくその前に、たっぷりと話を聞くことを大事にしたいものです。忙しい毎日ですが、短い時間でも子どもとじっくりと向き合い、身を乗り出して話を聴く時間をもちましょう。楽しい話の中に、子どもの成長を感じる場面もあるはず。数十年後は逆に話を聴いてもらわなくてはならなくなります。

5・6年生が出場する市陸上記録会の選手選考会がありました。出場を希望する子どもたちが、自分が希望する競技の練習に参加し、記録をとっていました。果敢に挑戦する姿がとても素晴らしく、大会が楽しみになりました。これから、放課後などを使って練習を行っていきます。記録への挑戦に汗する子どもたち。自分の力を伸ばすよい機会になりそうです。

3連休が2週にわたり続きます。家庭での過ごし方や交通安全などについて、親子で話し合っておいてください。

ある日のできごとから



職員室で職員の話をしていると、どうやら昼休みの時間に教室で運動会のダンスの練習が行われていることがわかりました。どんな様子なのだろうかと思い、先週の昼休み時間に校舎内を見て回りました。いくつかの教室で軽快な音楽が流れ、子どもたちが汗びっしょりになりながら踊っています。机を後ろに引いた教室で、満点の笑顔で友だちと一緒に踊っているのです。その表情のすばらしいこと。体育の時間の練習の様子と違い、非常にリラックスした表情で踊っていました。運動会当日は、その満面の笑顔を観客の皆さんに届けながら、自分たち自身も精一杯楽しんでほしいと思います。

同じ昼休みに校庭では、応援団の練習が行われています。紅白それぞれの応援団長と副団長が中心となり、自分たちでアイデアを出し合った振り付けや言葉で応援を繰り返します。応援団は元気が第一です。団長が精一杯の声で指示を出し、団員がそれに応えます。応援団の心をつなげて、それから紅白それぞれの組をつなげて、さらに宮川小学校全体をつなげてまとめる役を担う子どもたちです。大いに期待しています。昨年度優勝白組の応援団長は女子、今年優勝奪回を目指す赤組の団長は男子。それぞれ悔いのないようがんばってほしいです。

(文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)